令和5年度　放課後等デイサービスみっきぃ　自己評価表

実施日　　令和6年3月25日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の学年が上がり、体格の変化によってはスペースの狭さが予想される
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリーが必要な利用者がいないため、配慮はされていない
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングにより、利用者の状況や、支援の方法、申し送り事項を確認している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者から支援の内容や、方法、その他活動について要望や提案があれば職員で検討し、支援に取り入れている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価については今後の検討課題である
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			リモート研修や事業所内研修を行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングから得られた利用者、保護者のニーズを取り入れ計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			面談記録、アセスメント表、モニタリング記録を作成し、利用者の状況を把握している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			サービス担当者会議を行い、原案を基に活動プログラムを作成している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			通常のプログラムに加え、季節の行事や利用者の成長に合わせた活動プログラムを作成している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			月ごとに個人の目標を自分で立案し、達成度を毎日の反省会で確認している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			来所後の前半に個別活動（1時間程度）後半に集団活動（30分程度）を取り入れ計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		毎日実施することを基本としているが、できない日は各担当者で確認している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			各スタッフの支援記録を確認し、その日の活動について意見交換を行っている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			指導記録表を作成している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヵ月、1年と区切ってモニタリングを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った基本活動を計画し支援を行っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議には、サビ管、自発管、学校関係者、保護者が参加して行っている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			担任、担当の先生、支援の先生、保健教諭等と情報共有している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアを必要とする利用者がいないため体制は整っていないが、各利用者の主治医と連絡がとれるようにはなっている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保児童発達支援事業所との情報共有はできている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	学校を卒業した利用者はまだいない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			沼津市障がい者自立支援協議会、沼津市障がい者基幹相談支援センター主催の研修会を受けている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	夏休みなどの長期休暇中に児童クラブや地域の子供たちと活動する機会がある
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			沼津市障がい者自立支援協議会の研修に参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用記録表を記入し保護者から確認印をいただいている。送迎時、保護者に利用者の様子を伝え、支援内容や方法について伝えている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		希望者がいれば行っているが、確立されていない
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			通所利用相談、および契約時にに行っている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時に利用者の様子を伝え、保護者から相談があれば対応している
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はない。今後組織作りを検討したい

	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当者を置き、対応について契約時に重要事項説明書の記載を確認し、適切に対応している
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	インスタグラムにて活動の様子を発信している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			ホームページやインスタグラムに利用者の様子を掲載するために，契約時に取り扱いの説明をし、承諾書をもらっている
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			聴覚支援学校に通学している児童に対してホワイトボードや
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民との交流はないが、子供たちは元気に挨拶ができている
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			作成している
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を行っている
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会に参加し、スタッフににも周知している
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			入所当初、重要事項説明書に記載し説明している
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			入所前に保護者に確認し、提供するお菓子など配慮している
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事業所において事例はないが、他の事例集を共有している

〇この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「〇」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。